



社長のための
経営雑学
新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第43号

平成27年6月9(水)

発行：久保総合会計事務所
〒536-0006
大阪市城東区野江4丁目11番6号
TEL (06) 6930-6388
FAX (06) 6930-6389

経営コラム

『社長の生活習慣6か条！』(若葉マークの社長様へ)
...成功するか否かは社長一人の問題です。

誰にも叱られない立場、これこそ社長の特権であり最大のウイークポイントです。
頑張る人はとことん頑張り、怠惰な人どんどん堕落します。結果、雲泥の差が出ます。
自分の考え方や生き方を、自分で計りながら生きていく事を求められる立場、これが社長です。
楽しさと怖さが入り混じった感覚、これが社長業でしょう。
社長として、正しい生活習慣を身に付けましょう。

1. 「一人でしっかり考える時間」を確保しましょう。

毎日、できれば2時間ぐらい、自社の経営、自分のはすべきこと・行ったことについて、外部との情報を遮断して、自分の頭の中だけで考える時間を確保してください。

- ・そもそも自分は何をしたいのか？
- ・これからどのように経営を行うのか？
- ・近々何をするのか？明日は何をするのか？
- ・今日の成果と反省は？
- ・自分に不足しているのは何か？どんな学びが必要か？等々365日、1日も欠かさずしっかり考える時間が必要です。

2. 「決めたことは確実に実行」してください。

決めたら石にかじりついてでも確実に実行しましょう。結果はともあれ、自分が決めたことの実行率は百%を維持しましょう。

また、従業員に対しても、実行率百%を守らせてください。仕事なので当たり前です。能力に応じてできることを計り、量を調整することは必要です。

日々1.の「一人でしっかり考える時間」で総括してください。

3. 「余計なことをしない」肝に銘じてください。

余計なことにたくさんの時間とお金を浪費しています。仕事と称して遊ばないようにしましょう。遊びは遊びと認識してしっかり遊んでください。仕事と遊びの境界線がわからなくなっている社長も少なくありません。仕事に対する目的意識が明確なら、このような混同は起きにくいはずです。日々1.の「一人でしっかり考える時間」で総括してください。

4. 「凡事・細事は素早く確実に済ませましょう。」

メールの返信や書類の返答等、様々な凡事や細事も社長にはつきまといます。先送りせずに、今この瞬間にさっさとけりを付けましょう。終わらせましょう。凡事・細事の翌日以降への先送りをゼロにしてください。どうせやることは、できるだけ早く終わらせてしまう、この習慣も重要です。日々1.の「一人でしっかり考える時間」で総括してください。

5. 「健康的な生活」を送りましょう。

睡眠を十分にとり、できるだけ健康的な食生活を意識して日々を過ごしましょう。また、一定の休息も意識してとってください。頑張りすぎると思考が停止してしまいます。頑張る社長には余暇や休息が必要です。

6. 「24時間、365日経営のことを忘れない」でください。

法人(事業)に魂を注ぎ込むことができるのは、社長だけです。休みながら、遊びながら、眠りながらも、会社のことを思いやってあげてください。

正しい生活習慣は健康な肉体や精神を構築します。会社・法人も同じです。社長の生き様が、そのまま会社・事業の実態として表れます。また、社長に限らず、このような生き方を習得できたビジネスマンは、間違えなく勝ち組になります。原因と結果、因果関係は明確です。意識して実行してください。